

佛敎學七三十一

第 107 号

論 文

『華嚴經』における文殊師利と普賢菩薩…………… 織 田 顕 祐… 1

公開講演

通説の裏側…………… 水 野 善 文…21
——文献を読み解く醍醐味——

人と業績

雲井昭善先生を偲んで…………… 山 本 和 彦…42

* * * * *

学 会 彙 報……………45

* * * * *

論 文

世親作『釈軌論』第5章翻訳研究(2)…………… 上 野 牧 生…31
堀 内 俊 郎

初期經典および部派論書にみられる

「順忍」に関する記述…………… 宮 崎 展 昌… 1

2018年6月

大谷大學佛敎學會

佛 教 学 セ ミ ナ ー
第 105 号

公開講演

初期大乘経典誕生の背景……………平 岡 聡… 1

書評・紹介

馬場久幸著『日韓交流と高麗版大蔵経』……………織 田 顕 祐…22

学 会 彙 報 ……………30

論 文

ヴァスバンドゥの経典解釈法 (1)……………上 野 牧 生…45
——経典の目的 (*sūtrāntaprayojana*) ——

Tattvārthā における得・非得の翻訳研究 (3)……………楠 宏 生…22

大谷大学図書館所蔵『中辺分別論』

チベット撰述文献の試訳研究……………松 下 俊 英… 1

——掃敬偈、論の綱要偈——

佛 教 学 セ ミ ナ ー
第 106 号

論 文

『一乗要決』に見られる二乗永滅説批判……………ロバート F. ローズ… 1
——『成唯識論掌中樞要』への反論を中心に——

曇無讖訳『涅槃経』における「秘密蔵」……………森 山 結 希…24

2017年度 新入会員歓迎講演

四住期とブツダの言葉……………山 本 和 彦…47

書評・紹介

カンカル・ツルティム・ケサン著『学者の王のお言葉の
正しき伝統——一千万の智者の源という叢書：
カンカル・ツルティム・ケサン氏の全集 (mkhas dbang
gsung gi rgyun bzang blo gsal bye ba'i 'byung gnas
zhes bya ba'i dpe bstar, khang dkar tshul khriims skal
bzang mchog gi gsung 'bum)』全十巻……………福 田 洋 一…54

澤井義次著『シャンカラ派の思想と信仰』……………山 本 和 彦…71

学 会 彙 報 ……………82

論 文

宰相チャーナキヤの格言詩……………堀 田 和 義… 1
——*Cānakyanītidarpaṇa* 和訳 (1) ——

執筆者

織田 顕祐 大谷大学教授 博士(文学)

水野 善文 東京外国語大学教授

山本 和彦 大谷大学教授 Ph.D. 博士(文学)

堀内 俊郎 浙江大学ポストドクター 博士(文学)

上野 牧生 大谷大学講師 博士(文学)

宮崎 展昌 人文情報学研究所 研究員 博士(文学)

第 107 号

佛教学セミナー

定価: 本体 1,000 円(税別)

2018 年 6 月 20 日 印刷
2018 年 6 月 30 日 発行

大谷大学佛教学会
発行者 山本和彦
603-8143 京都市北区小山上総町 22
振替 01040-3-25303

印刷

中村印刷株式会社

発売所

文栄堂書店
604-8091 京都市中京区寺町通三条上ル
振替 01080-4-2948 番
電話 075(231)4712 番

編集後記

『佛教学セミナー』一〇七号をお届けします。今回は論文三本と二〇一七年十二月に行われました仏教学会公開講演会の筆録を中心に編集することができました。公開講演会ではインド文学を専門とされている東京外国語大学教授の水野善文先生をお招きし、「通説の裏側―文献を読み解く醍醐味」という題目でご講演をいただきました。この講演では四国や瀬戸内海を中心に信仰されている金毘羅大権現を取り上げ、一般的に金毘羅はサンスクリットのクンビーラを音写したもので、クンビーラとはガンジス河に住むワニ、あるいはそれを神格化した女神とされているが、実際はもつと複雑であることを、仏典を始めとする多くのインドの文献を引きながら詳しく紹介していただきました。普段はインドの文学についてお話を聞く機会が少ないため、興味深く拝聴させていただきました。

さて、二〇一八年四月から、大谷大学は文学部、社会学部、教育学部の三学部体制に移行しました。それに伴い文学部も再編され、各学科の教授スタッフやカリキュラムも大きく変わりました。仏教学科でも新しいメンバーを迎え、従来の「現代と仏教」、「文化美術」、「仏教思想」の三コースを、「現代仏教」と「仏教思想」の二コースに再編し、カリキュラムを大幅に改めて、新しいスタートを切りました。特にカリキュラムに関しては、哲学科や歴史学科などの授業も仏教学科の学科科目として開講し、さらには真宗学科と合同で一年生対象の「仏教文献

基礎演習」を新規に設置するなどして、より学際的な教育が実施できるようになりました。今後も様々な工夫を行うことによって、日本の仏教研究をリードする研究者の育成に努めたいと考えています。

(RFR)

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Article

Mañjuśrī and Samantabhadra in the *Huayanjing*ODA Akihiro 1

Public Lecture

The Reverse Side of a Commonly Accepted View: The Pleasures of
Deciphering TextsMIZUNO Yoshifumi 21

People and Their Legacy

Remembering Professor Kumoi ShōzenYAMAMOTO Kazuhiko 42

* * * * *

Reports 45

* * * * *

Articles

An Annotated Japanese Translation of Chapter 5 of Vasubandhu's
Vyākhyāyukti (2)UENO Makio, HORIUCHI Toshio 31

Accounts of *anulomikakṣānti* among Early Buddhist Sūtras and
Abhidharma / Abhidhamma LiteratureMIYAZAKI Tenshō 1

PUBLISHED BY
THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
OTANI UNIVERSITY
KYOTO JAPAN